

多様な研究、調査発表

事業の開発支援などを手がける「シーホース・スタジオ

ズ(東京都)の中井健太C
EOは「自分がこの取り組みを好きだと思つことが最も大事。それを大切に頑張つてほしい」と激励した。
デジタルは2022年
度を開始。本年度は前橋の科学・物理部、前橋東の理科部、藤岡中央のF、C、L a b、桐生の物理部、太田工業の美術部とパソコン研究部、富岡の理科部、高崎の物

伊勢崎で7高校の生徒48人



発表する太田工業高の生徒

県のデジタル人材育成事業「群馬デジタルイノベーション」の成果発表会が30日、伊勢崎市のスマーク伊勢崎で開かれた。7高校の生徒48人らがこれまでの取り組みについて紹介した。

7高校の生徒は、それぞれの目標達成に向けて専門家の助言を受けたり、企業を訪問したりして、研究を進めてきた。前橋高の生徒は、一時停止標識を認識する自転車のブレーキシステムを開発していると説明。藤岡中央高の生徒は、桜山公園(藤岡市)の冬木の樹勢が衰えている原因を調べるため、データをまとめていると紹介した。

コメントーターで、新規
取得を組み紹介した前
橋高の矢沢さん(左)と
齋藤さん

社会課題解決へ アイデアを提案



ん、齋藤竜之介さんは、ウメやサクラの木を食い荒らす特定外来生物「クビアカツヤカミキリ」の痕跡を、人工知能(AI)で

伊勢崎で高校生2組



自動検知する装置の開発に取り組んでいる。AIの精度を上げるため、ウメの生産や加工を行う「結び葉(安中市)の支援を受けてウメ農家と協力し、現地調査に取り組みすることを紹介した。
高崎高1年の久保晃市さんは、デジタル機器が使えない高齢者や子どもの自己管理を、音声で支援するタスクボードを開発していると発表。糸井商事(高崎市)が商品化を支援してくれていると報告した。

コメントーターで、共
愛学園前橋国際大の村山賢哉教授は「県内の支援をたくさん使い、すてきな人材になってほしい。みんなで明るい群馬、日本の未来をつくろう」とエールを送った。
(丸岡美貴)

描いたモンスター3D化

桐生 ツクルンで体験講座



自身が考えたモンスターについて発表する参加者(左)

群馬大理工学部学生のアイデアを取り入れた小学生向けのデジタル体験講座が30日、桐生市のデジタル人材育成拠点「ツクルンキリユウ」で開かれた。市内外の9人が、液晶ペンタブレットで描いたモンスターの3D化に挑戦した。
2月に開かれた同大の学生によるプレゼン大会でグランプリになった3年の西村律輝さん(21)が講師を務めた。
参加者は西村さんと同学
無断欠勤や同僚暴行
隊員2人を懲戒処分
陸自相馬原駐屯地
陸上自衛隊相馬原駐屯地は30日までに、隊員2人の懲戒処分を発表した。第19偵察戦闘大隊の19歳の1等陸士は、正当な理由なく欠勤したとして停職2日の処分と分とし、同隊の20代陸士は、同僚隊員に暴行を加えたとして同日の処分と

理部を支援対象とした。また、小学生がプログラミングなどを学ぶ「地域ICT

クラブ」を、伊勢崎、沼田、館林、安中の4市で実施した。
(丸岡美貴)

たとし、市民や関係者への感謝の気持ちを語った。
齋藤さんは「俳優という立場からすると、いろんな

んや塚正章さんらが出演。生死を超えた愛と絆を描く物語で、高崎市内でもロケが行われた。上映後にはプ

お客さまとともに開幕できることを心から感謝している。(映画を通) 皆さんが少しでも豊かですきな

部
ら
を
1
1
を